

377

2042

第一編  
 第二編  
 第三編  
 第四編  
 第五編  
 第六編  
 第七編  
 第八編  
 第九編  
 第十編  
 第十一編  
 第十二編  
 第十三編  
 第十四編  
 第十五編  
 第十六編  
 第十七編  
 第十八編  
 第十九編  
 第二十編  
 第二十一編  
 第二十二編  
 第二十三編  
 第二十四編  
 第二十五編  
 第二十六編  
 第二十七編  
 第二十八編  
 第二十九編  
 第三十編  
 第三十一編  
 第三十二編  
 第三十三編  
 第三十四編  
 第三十五編  
 第三十六編  
 第三十七編  
 第三十八編  
 第三十九編  
 第四十編  
 第四十一編  
 第四十二編  
 第四十三編  
 第四十四編  
 第四十五編  
 第四十六編  
 第四十七編  
 第四十八編  
 第四十九編  
 第五十編  
 第五十一編  
 第五十二編  
 第五十三編  
 第五十四編  
 第五十五編  
 第五十六編  
 第五十七編  
 第五十八編  
 第五十九編  
 第六十編  
 第六十一編  
 第六十二編  
 第六十三編  
 第六十四編  
 第六十五編  
 第六十六編  
 第六十七編  
 第六十八編  
 第六十九編  
 第七十編  
 第七十一編  
 第七十二編  
 第七十三編  
 第七十四編  
 第七十五編  
 第七十六編  
 第七十七編  
 第七十八編  
 第七十九編  
 第八十編  
 第八十一編  
 第八十二編  
 第八十三編  
 第八十四編  
 第八十五編  
 第八十六編  
 第八十七編  
 第八十八編  
 第八十九編  
 第九十編  
 第九十一編  
 第九十二編  
 第九十三編  
 第九十四編  
 第九十五編  
 第九十六編  
 第九十七編  
 第九十八編  
 第九十九編  
 第一百編

防衛庁防衛研究所図書館



2043

第二十三号  
第二十三号  
510

昭和33年4月米政府返還旧日本軍記録文書等史料経歴票  
防衛庁防衛研修所戦史室

表題	昭和 20.1.31 ~ 20.2.28 第二十三号 警備隊 軍時日記
整理番号	893-1
作成の部隊 庁・個人名等	第二十三号 警備隊
作成年月日	明治 大正 昭和 年 月 日作成 自 年 月 日 の間作成
史料 の 主 内 容	
備 考 (本史料に 関する参考 事項を記す)	
史料 の 入 手 経 路	本史料は大東亜戦争中米軍が直接戦場で鹵獲し、又は内地進駐後、陸海軍諸機関から押収した記録文書の一つであつて、長くワシントン郊外フランコニヤ等の記録保管所に保管されていたが、米国務省に対する日本政府の返還要求に応じ、昭和33年3月日本側に引渡され、同年4月横浜着、同月10日指定保管責任庁たる防衛研修所戦史室の手に帰したものである。
責 任 者 職 氏 名	防衛庁防衛研修所戦史室長 防衛庁事務官 西 浦 進

昭和33年5月調整